

長野県特別支援学校 ICT 通信

令和5年2月24日 第4号

長野県特別支援学校 ICT 活用推進担当者会

みんなが ICT を活用している様子を見てみよう

今年度、長野県の特別支援学校では児童生徒 1 人ひとりに合った個別最適な ICT 活用を推進してきました。各校では、児童生徒から「楽しい!」、「できた!」、「わかった!」という思いがあふれるような活用がたくさん行われています。その中から実際の活用の様子を紹介します。

iPad を使って司会進行



小学部 1 年生の A さんは朝の会や帰りの会で、当番の日に iPad を使って 1 人で司会進行をしています。「なまえよび」では、iPad 内の顔写真をタップして「〇〇さん、元気ですか?」の音声流します。友だちや先生が返事をしてくれることがうれしくていつもニコニコです。

人前で話すことは少し苦手な A さんですが、今では当番が回ってくる日をととても楽しみにしているそうです。

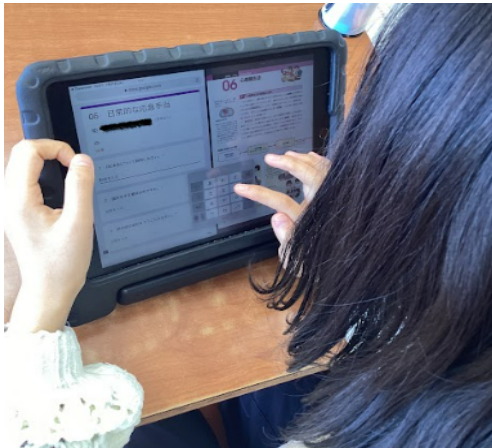
スイッチを使って iPad を操作



高等部 1 年生の B さんはスイッチを使って iPad を操作しています。iPad の画面上を動くカーソルが、自分の思ったところに来たときに赤いスイッチを押して写真や文字を選んでいきます。スイッチを押してクイズに正解すると、「やったー!」と声に出してよろこんでいます。

今の目標は、スイッチを使って自分で文字を入力し、好きな音楽を検索して聴くことだそうです。

デジタル教科書で授業を受ける



視覚障がいのある高等部1年生のCさんは、iPadを使って授業を受けています。デジタル教科書が入っているので、必要なところは拡大して読んでいます。まとめの時間には画面内に教科書とまとめの問題を左右に並べて表示させ、教科書や自分のメモを見ながら問題を解いています。

iPadを使うことで、自分に合った文字の大きさや表示方法を調整しながら学習することができています。

iPad でひらがなの学習



小学部5年生のDさんは iPad を使ってひらがなの学習をしています。ひらがなをタップすると音声が出るので、それに合わせて一緒に声を出しながらひらがなを覚えていきます。読めるひらがなが増えてきたので、学級のかかるた遊びでは自分から札を読む役に立候補しています。

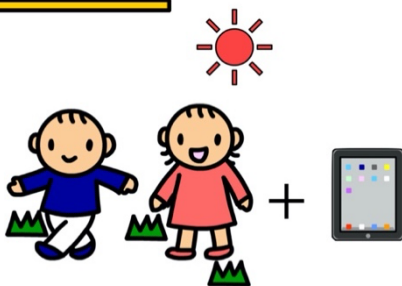
iPad を使って1人で取り組むと、間違えてもすぐに自分でやり直せることがうれしいようです。

今回は数ある中から4名の様子を紹介しました。このような活用がさらに広がるように、長野県特別支援学校 ICT 活用推進担当者会はこれからも活動していきます。

通信はこの4号で今年度最後となります。来年度も、通信を通して県内の ICT 活用の様子をみなさんに伝えていきます。

じどうせいと
児童生徒の
みなさんへ

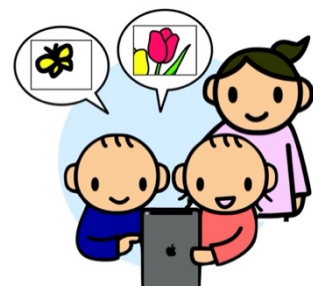
はる iPadで春をさがしてみよう！



あたたかくなってきたらiPadを
もってさんぽに行ってみよう



はる
春になると見られるものの
しゃしん
写真を撮ろう



とも
お友だちや先生と
み
みせあいっこしよう！

文責：長野県 ICT 活用推進ブロックリーダー